

2025.1.16

◆◇■◇■◇■◇◆◇■◇■◇■◇■◇■◆◇■◇■◇■◇◆◇■◇■◇■◇■◆◇■◇■◇

地域日本語支援ニュース こだま 第 451 号

ともに生きる

～地域で、日本で、そして世界で～

◆◇■◇■◇■◇◆◇■◇■◇■◇■◇■◆◇■◇■◇■◇◆◇■◇■◇■◇■◆◇■◇■◇

★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部： <https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

---

■ともに生きる：新宿区より■

AJALT では、2022 年から『かんじだいすきシリーズ』（注 1）を使って、漢字学習に特化した中学生向け無料漢字教室を主催しています。新宿区教育委員会にご後援いただき、新宿区内の公共施設が会場となります。受講者募集に際しては、区内中学校への広報もお願いしています。春休みと夏休みに 1 回 2 時間、5～6 日間だけの実施ですが、新宿区の公立中学校に募集をすると、毎回 10 人ほどの外国にルーツを持つ中学生が、「漢字をもっとわかるようになりたい」と教室にやってきます。今回は、彼らが日頃学んでいる学校を離れた「漢字教室」という場で、楽しみながらも真剣に漢字学習に取り組んでいる様子をご報告します。

---

AJALT 中学生漢字教室

～学校を離れた教室だからこそできる学びを～

公益社団法人 国際日本語普及協会（AJALT）

日本語教師 内田 雅子

◆学びたいことを学ぶのが一番

この「中学生漢字教室」で生徒達がまずすることは、どのテキストを使って、どこまで勉強したいか一人ひとり決めることです。小学 1～6 年までの学年ごとの漢字を扱う『かんじだいすき（一）～（六）』6 冊と国語・算数、社

会・理科の教科語彙を扱う『かんじだいすき教科編』2冊の、合計8冊の中から選びます。実は、2022年当初は生徒にレベルチェック用テストを受けてもらい、その結果に合わせて教師がテキストを選んでいました。2023年夏教室、ネパールから来た男子生徒が「先生、ぼくは『かんじだいすき(二)』じゃない『(三)』を勉強したい」と言ったのです。テキストを変えると、ものすごい集中力で、しかも楽しそうに勉強を始めました。学校とはひと味違う教室で、5～6日間だけの勉強。本人が自由に選ぶことができる学びがあってもいいじゃないか。このとき、「学びたいことを学ぶのが一番」ということを生徒から教えてもらいました。

#### ◆簡単だけどやりがいはある

漢字教室には漢字圏の生徒達も参加します。来日して数か月の中国出身の女子生徒が2023年春教室に参加しました。部活と学校の宿題で忙しい中、休まず通ってきました。学校の宿題を見せてもらいましたが、難しい漢字がびっしり並んでいます。さすが漢字の国から来ただけあって、画数の多い複雑な漢字もきれいに正確に書けています。教室では、小学1,2年の漢字の訓読みを、音読みでの熟語も確認しながら、しっかり覚えていきました。学校では、やさしい漢字を勉強しているのを友達に見られたくないという生徒もいるでしょう。でも、この漢字教室では、安心して小学校の漢字に戻って学習することができます。教室の終了時に実施しているアンケートに、彼女が中国語で書いた感想は「簡単だけどやりがいのある学習」という一文でした。

#### ◆「協力しあった」と思った

漢字教室に来る生徒たちの言語的背景は実にさまざまです。漢字の意味がよくわかり、書くのも上手だけど、訓読みが苦手な生徒、日本語でのおしゃべりはとても上手だけど、漢字を正確に読んだり書いたりするのは得意じゃない生徒、言葉をたくさん知っているけれど、言葉の音と漢字がなかなか結び付かない生徒。一対一で教師がじっくり見てあげたいと思っても、時には2～3人を相手にしなければなりません。「誰に合わせて進めたらいいんだろう」と悩みます。

しかし、生徒たちはグループでの勉強を案外楽しんでいきます。3歳から日本に住んでいるというフィリピンの男子生徒が「グループ活動で勉強していて、分からないところを教え合ったりもしていた。『協力』しあったと思った。おもしろかったです。これからもがんばってください」という感想を書いていました。なるほど、生徒の苦手なことばかりに目を向けるのではなく、みんなが得意なことを教え合えば、教師が一人で焦る(あせる)必要はありません。

せん。

◆「新しい友だちとべんきょうすることが楽しい」

漢字教室の時間割の最後に、全体での発表時間が毎回 10 分程あります。

「一 1 日一、この漢字は何でしょう」

「手のはんたいむきは何ですか」

「なぞなぞです。駅にあるよ。出たり、入ったり、するところは何だろう！！」

それぞれの生徒が今日覚えた漢字を使ったクイズを作って、みんなの前で発表します。今日の漢字学習の中で一人ひとりの生徒が気づいたことを他の生徒も教師も共有し合える時間です。「クイズを作って、友達と一緒に楽しんで勉強しながらたくさん漢字を覚えた」「みんなと勉強するのが楽しかった」「みんなでたくさんかんじをべんきょうしました」「ともだちといっしょにべんきょうできておもしろかったです」「新しい友だちとべんきょうすることが楽しい」……。生徒の感想には「ともだち」「みんな」という言葉が並んでいます。

(漢字クイズ答え：車、毛、改札口)

最後に、中 1 の夏休みから中 3 の夏休みまで 5 回続けて教室に参加したネパールの男子生徒が書いた文章（一部改）を紹介します。2022 年夏に『かんじだいき (一)』から始めて、2024 年夏に『かんじだいき (五)』まで学習しました。

みんなと一緒に仲良くしてたくさん漢字を知り、分かり、書き、それから覚えてできるようになりました。ここに来たばかりのとき、なにも分からなかったが、この教室でいろいろなことを知りました。漢字だけではなく日本語をしっかりと分かるようになることに気づきました。とても楽しかった。また春休みにも来たいです。そこでかんじだいき 6 をできるようになりたいです。

この教室だからこその学びがある。自分がわかりたいと思うことを、外国にルーツをもつ仲間と協力し合って楽しく学んでいく。少しずつ積み重ねることで日本語の底力がつく教室、そんな教室で生徒たちの学びをこれからも支えていきたいと思います。(本文中の生徒の文は原文のままです。)

★AJALT では、来たる 3 月 22 日 (土) に、初めて文字を学ぶ外国にルーツをも

つ子どもたちへの文字学習指導・支援についてのオンライン講座を実施します。詳細は以下をご覧ください。

[https://www.ajalt.org/file/k2024\\_hajimete.pdf](https://www.ajalt.org/file/k2024_hajimete.pdf)

注1 『かんじだいすき』シリーズ：日本語を母語としない外国にルーツをもつ児童生徒が楽しく漢字を勉強するための教材。小学校の配当漢字1026字を扱う。

『かんじだいすき（一）～（六） ～日本語を学ぶ世界の子どものために～』

『同 漢字カード・絵カード』

『別冊英語訳 かんじだいすき（四）～（六）』

『別冊ポルトガル語訳 かんじだいすき（四）～（六）』

『＜中学に向けて＞ かんじだいすき ～国語・算数編～』

『＜中学に向けて＞ かんじだいすき ～社会・理科編～』

『練習帳＜中学に向けて＞かんじだいすき ～社会・理科編～』

★こどもの日本語ライブラリ（JYL PROJECT） 冊子教材（練習帳）

[https://www.kodomo-kotoba.info/booklet/basicsearch\\_booklet.html](https://www.kodomo-kotoba.info/booklet/basicsearch_booklet.html)

---